

第25回 観てさわって 科学, 体験 2018 フェスティバルの参加報告

フェスティバル参加委員会

委員長	重松 和恵	(機械・環境建設系技術班)
副委員長	紙崎 諒大	(電気電子・情報系技術班)
委員	政岡 孝	(実習工場)
委員	本郷 友哉	(化学・材料系技術班)
委員	平田 智照	(自然科学系技術班)

1. はじめに

「第25回 観てさわって 科学, 体験 2018 フェスティバル」が11月10, 11日の2日間にわたり開催されました。この催しは、大学が地域社会と連携し、子供たちを中心に自然科学やものづくりの楽しさを通して科学に興味を持ってもらうことを目的とし、科学・技術のおもしろさを体験してもらうものです。愛媛大学理工学研究科、工学部等が四国電力株式会社と共催、株式会社伊予銀行などと協賛、愛媛県教育委員会、松山市教育委員会等の後援などを受けて実施されています。工学部等技術部では、身の回りにある光が赤や青、そして緑色などの光からできていることを体感してもらうのを目的とし「紙コップで光の万華鏡をつくらう！」をテーマ参加しました。

2. 実施状況について

今年は共通講義棟Cの2階EL22を会場として行われました。同日は、大学の学園祭も開催されており、学生さんをはじめ、多くの保護者や子供たちの参加があり、2日間の来場者は述べ470名と沢山の方々に来場いただきました。

穴を開けた紙コップに分光シートを貼り、蛍光灯の光を見ると、虹色を見ることが出来る万華鏡を作成しました。テーマである「紙コップで光の万華鏡を作ろう！」に関連する色々な光（白熱灯、蛍光灯、LED）を設置し、作成した万華鏡を使って見え方の違いを体験して貰いました。無色に見える光も、様々な光が混ざって出来ていることを実感してほしいという狙いがあったのですが、難しい原理の事より、完成した万華鏡を覗き、穴から見える虹色の光に「きれい〜!」、「すごい〜!」と素直に感動する子が多かったです。今回も、皆様の応援もあって大盛況で無事終わることができました。

3. おわりに

この科学体験フェスティバルに参加するにあたり、ご支援いただきました科学体験フェスティバル実行委員会、工学部総務チーム、工学部等技術部技術長、副技術長及び技術職員各位に厚くお礼申し上げます。



写真-1 万華鏡をのぞく来場者



写真-2 会場風景